

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 口臭の原因としての口腔細菌の関与に関する研究

研究の目的

口臭は自覚している人にとっては心理的ストレスが強く、さらには人間関係などの日常生活 QOL に与える影響は極めて大きいです。口臭の原因物質は硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイドという物質であることが分かっています。その発生原因として歯周病菌の中のポルフィロモナス、フゾカクテリウムと言う細菌が従来考えられていましたが、最近になり新たにソロバクテリウムの関係もはっきりしてきました。口腔内細菌と口臭の関連を調査した研究は少人数を対象とした研究がほとんどであり 1000 人規模の研究はありません。また、口臭は自覚しにくく、気にしていてもなかなか人に聞きにくい一面もあります。そこで本研究では口臭の原因である揮発性硫黄化合物（VSC）濃度と口腔内細菌との関連性について解明することを目的としています。

研究実施期間： 実施許可日～2026 年 3 月 31 日

対象となる方： 2018 年度の岩木健康増進プロジェクト健診の参加者

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

以下の情報を研究責任者である小林 恒の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

年齢、性別、BMI、口臭検査結果（揮発性硫黄化合物濃度：硫化水素、メチルメルカプタン、ジメチルサルファイド化水素濃度の総和濃度）、口腔内環境（歯の数、歯周病の罹患状態）、嗜好品（お酒と喫煙）、口腔内細菌

具体的には健診で得られた上記データを用いて、口腔内環境・口腔内細菌と口臭との関連性を調査し相互の関係を明らかにする予定です。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2016-028-1, 2021-030, 2018-012, 2020-046-4, 2021-166-3）」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「情報利用提供停止願い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科歯科口腔外科学講座 教授 小林 恒 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話 0172-39-5126 Email wako@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205